

2025年度

# 同窓会総会 & ホームカミングデーのご案内

【日時】 2025年10月18日(土) 12:30~15:00  
【場所】 人間環境大学 大府キャンパス 6F  
【内容】 第1部: 同窓会総会

事業・決算報告、新役員・役員配置の報告、  
次年度の予算案・事業計画の提案など

第2部: ホームカミングデー  
卒業生・教職員との交流



2024年同窓会の様子です。

いろいろな分野で働く同窓生同士、  
仕事の悩みを相談したり、懐かしい思い出話を楽しんだり、  
有意義な時間を一緒にすごしませんか。  
皆さまの参加をお待ちしております。

<同窓会役員一同>

当日は、ぜひ学祭もお楽しみください!

参加費無料  
当日参加  
OK!

軽食あり

予約した方には  
プレゼント  
あり

【申し込み】 右側のQRコードを読み取り、10月4日(土)までに送信してください。  
【問い合わせ先】 k-torii@uhe.ac.jp



人間環境大学看護学部

# 同窓会会報

vol.7  
2025年9月発行

人間環境大学看護学部同窓会

事務局: 〒474-0035 愛知県大府市江端町3-220

ホームページ: <https://www.uhe.ac.jp/user/graduate.html>

## ご挨拶

会員の皆様へ

同窓会会長 加藤 梨乃 (5期生)

日頃から、人間環境大学看護学部同窓会の活動に、ご理解とご協力を頂き、心から感謝申し上げます。人間環境大学看護学部同窓会会長加藤梨乃と申します。看護学部5期生として2022年に本学を卒業し、名古屋大学医学部附属病院のNICU/GCUにて3年目看護師として勤務しております。NICU/GCUでは、早産児や呼吸障害外科疾患など、出生後すぐに治療を必要とする赤ちゃんが入院しています。治療中においても、ひとりひとりの赤ちゃんがそれぞれのペースで成長・発達できるように看護をしています。また、看護師2年目早々にNICU/GCUに異動したこともあり、不慣れな環境下で、勉強に明け暮れる毎日の繰り返しですが、同期や先輩などに助けて頂きながら、安心して看護を実施できています。

昨今、厳しい暑さの中で体調を崩される方も多いかと存じますが、同窓会会員の皆様はお変わりないでしょうか。また、新型コロナウイルスは徐々に終息してはおりますが、マイコプラズマや百日咳などの感染症も増えております。気を緩めることなく、感染症対策を継続し、健やかに過ごしてください。

昨年度のホームカミングデーでは、お世話になった教員の方々や卒業生と交流を深めることができ、とても有意義な時間となりました。今年度は、新たに3名の同窓会役員を迎えました。同窓会では、日々張り詰めた医療・保健現場で勤務されている同窓会会員の皆様にとって、少しでも気分転換となれるような企画を実行していきたいと考えております。活動には様々な課題がありますが、同窓会会員の皆様からのご助言を頂きながら、より一層同窓会を活性化してまいりますので、引き続き同窓会へのご支援とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



同窓生の皆様へ

人間環境大学看護学部 学部長 篠崎 恵美子

同窓生の皆様、お元気でしょうか。看護学部は昨年、開設10周年という節目を迎え、今年2025年春には11期生106名が入学しました。今この文を読んでくださっている皆さんは何期生でしょうか。第1期生の皆さんはすでに中堅からベテランの域に達し、さまざまな場面で活躍されていることと思います。高校卒業したばかりの皆さんが、入学後間もない時期の「看護学原論」で熱心に学んでいた姿が、今も鮮やかに思い出されます。

私は必ず初めての「看護学原論」の講義時に、「聴いてください、看護師さん」という詩を紹介していますが、皆さんは覚えていますか。この詩を読んだときに感じたことを大切にしていますか。

ひもじくても、わたしは、自分で食事ができません。あなたは、手の届かぬ床頭の上、わたしのお盆をおいたまま、去りました。

その上、看護のカンファレンスで、わたしの栄養不足を、議論したのです。(中略)  
助けてください。わたしにおきていることを心配してください。わたしは、疲れきっていて、さびしくて、ほんとうにこわいのです。

話しかけてください。手をさしのべて、わたしの手をとってください。わたしにおきていることを、あなたにも大事な問題にしてください。どうか、聞いてください。看護師さん。

本学のキャリア・デザイン支援室は卒業後も利用できます。また、大学院では、研究・教育に加え、助産学実践コースや教職課程専修免許状が取得できるコースなど、多様な進路に対応しています。進路に迷ったとき、自分を見つめ直したいときは、どうぞ気軽に大学を訪ねてください。

私たち教職員一同は、皆さんの歩みを心から応援しています。

# 人間環境大学 大学院 看護学研究科

(博士前期課程・博士後期課程)

3つの分野(看護教育管理学、実践看護学、助産学)で、未来の看護を拓く!

グローバル社会の中で社会貢献と自己実現を目指す研究者・教育者・管理者を育成する。



大学院 看護学研究科長  
教授 篠崎 恵美子  
博士(看護学)。  
名古屋大学大学院医学系研究科博士後期課程満期退学。  
専門は基礎看護学。  
基礎看護技術の横断や教育方法、看護技術の修得・革新を研究テーマとしている。  
現愛知県看護協会副会長。

看護学  
専攻

- 看護教育管理学分野
  - 看護教育学領域
  - 看護保健管理学領域
- 実践看護学分野
  - 実践看護学領域
  - 広域看護学領域
- 助産学分野
  - <博士前期課程> <博士後期課程>  
助産学研究コース 助産学領域  
助産学実践コース

博士前期課程にそれぞれ「助産師国家試験受験資格」と「看護教諭専修免許状」を取得できる課程を配置しています。また、指定科目の単位を取得し、修了することで認定看護管理者の審査受験資格を得ることができます。

## 令和8年度 大学院看護学研究科 入学試験日程 (博士前期課程・博士後期課程)

	出願期間	試験日	合格発表	試験内容
I期	令和7年 9月1日(月)~9月8日(月)	令和7年 9月28日(日)	令和7年 10月2日(木)	<博士前期課程> ①小論文 ②専門科目筆記試験 ③口述試験(研究計画)
	個別の入学資格審査(申請期間)令和7年8月1日(金)~8月19日(火) (結果通知)令和7年8月28日(木)			
II期	令和7年 11月4日(火)~11月14日(金)	令和7年 11月30日(日)	令和7年 12月4日(木)	<博士後期課程> ①小論文・英文読解 ②専門科目筆記試験 ③口述試験(研究計画)
	個別の入学資格審査(申請期間)令和7年9月29日(月)~10月8日(水) (結果通知)令和7年10月16日(木)			
III期*	令和8年 1月4日(日)~1月9日(金)	令和8年 1月25日(日)	令和8年 1月29日(木)	
個別の入学資格審査(申請期間)令和7年12月1日(月)~12月5日(金) (結果通知)令和7年12月18日(木)				

## 募集人員

博士前期課程:20名  
博士後期課程:8名



\*定員を満たした場合には、募集を締め切ることがあります。各領域の募集状況については、入試・広報部までお問い合わせください。  
【個別の入学資格審査により出願を希望する方は、申請期間前に必ず、本学入試・広報部入試課(TEL 0120-48-7812)までお問い合わせください。】

## 大学院入試個別相談

本学看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程)について、  
教員が個別に説明・相談に応じます。\*「助産師資格」や「看護教諭専修免許状」についてのご相談ください。  
お電話にてお申し込みください。(電話受付/平日9:00~17:00) TEL 0120-48-7812 (入試・広報部直通)  
その際に、氏名、連絡先(電話番号)、志望領域、相談希望日時と方法(来学もしくはオンライン\*)をお伝えください。\*オンラインは「Google Meet」「Zoom」などのツールを使用します。

申し込み方法

## 2025～2026年度同窓会新役員候補者の挨拶

人間環境大学看護学研究科助産学実践コース

**荒尾 那津**さん (7期生)

この度、人間環境大学看護学部同窓会役員に選出いただきました荒尾那津です。現在、私は人間環境大学看護学研究科助産学実践コースに進学し、助産師を目指して日々、学修に励んでいます。

助産に関する専門的な知識と技術を講義や演習などを通して学んでいます。学外での演習も行っており様々な面から助産について学ぶことができ充実した日々を過ごしています。また研究についても先生や先輩方、同じ助産学実践コースの5名と意見交換を重ね、形にできるよう励んでいます。

同窓会役員として未熟ではありますが、先輩方や先生方に助言をいただきながら、皆さんに楽しんでいただける同窓会総会・ホームカミングデーを企画していきたいと思っています。忙しい日々を過ごしていると思いますがぜひ参加していただき様々な方と交流できる機会をつくることができると思っています。よろしくをお願いします。



人間環境大学看護学研究科助産学実践コース

**紅林 杏実**さん (7期生)

この度人間環境大学看護学部同窓会新役員に選出いただきました紅林杏実です。

私は現在人間環境大学看護学研究科助産学実践コースに進学し、助産師という夢に向かい日々勉学に励んでいます。助産学や研究に関する講義、実技演習やセルフトレーニング、課題に取り組む忙しい日々を過ごしていますが、先生方や先輩方、仲間の支えと共に一生懸命取り組んでいます。助産学について学部時代の母性看護学より専門的な知識を深めることができ新たな知識を得られる喜びを感じています。

同窓会役員として未熟ではありますが、先生方や同窓会役員の先輩方と協力をし、皆さんに親しみやすく楽しい同窓会総会・ホームカミングデーを計画していきたいと思っています。ぜひ皆さんにご参加頂き、直接お話できることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



人間環境大学看護学研究科助産学実践コース

**小路口 穂花**さん (7期生)

このたび、人間環境大学看護学部同窓会の新役員に選出していただきました、小路口穂花と申します。現在は大学院看護学研究科助産学実践コースに在籍し、幼い頃からの目標であった助産師を目指して、日々研鑽を重ねております。

講義や課題、研究、自己学習など、多忙な毎日を送っておりますが、その都度、先生方から温かいご指導を賜り、座学で得た知識を演習で応用しながら、セルフトレーニングにも積極的に取り組んでおります。仲間とともに、一步一步着実に成長を実感しながら、充実した大学院生活を送っております。

これからは、同窓会の活動を通じて、卒業生同士のつながりや交流を深めるお手伝いできればと思っております。微力ではございますが、先輩方のお力をお借りしながら、皆さまに楽しんでいただけるようなホームカミングデーや同窓会総会の企画・運営に努めてまいります。ぜひご参加いただけますと幸いです。



## 卒業生の近況報告

看護師

名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター



**川端 千寛**さん (6期生)

私は名古屋市立大学医学部附属西部医療センターの消化器病棟で勤務しています。この病棟は、内科・外科両方の急性期から慢性期、終末期に至るまで様々な病歴を持った患者さんが入院しています。そのため、入職時より、様々な治療期に対する看護を広く学習することを心掛けています。特に周手術期では、状態の変化が激しく、疼痛コントロールを行いながら元の生活に近づけるよう看護を行う大変さを学びました。

また、本院はがん診療拠点病院のため、私の働く病棟は消化器腫瘍センターとして、多くのがん患者さんが入院しています。その中でも、化学療法や放射線治療、陽子線治療を行う患者さんに対しては、在学中にがん看護選択強化プログラムで学習したことを振り返りながら、治療経過に合わせた観察、看護ができるよう患者さんとのコミュニケーションを大切に働いています。しかし、患者さんの中には様々な背景や病歴を持つ方がいるため、関わっていく中で、看護の方向性や多職種連携、他科の知識など自分では知識・経験不足を感じることがありました。そのため、迷った時は先輩や同期に相談し、助言を頂きながら仕事を進めています。

同期生の皆様、忙しい日々を送られていることと思いますが、体調に気をつけて、無理なく頑張りましょう。

養護教諭

南知多町立みさき小学校



**櫻井 奈津美**さん (7期生)

私は現在養護教諭として、公立の小学校で働いています。養護教諭の仕事は、けがや体調不良の対応だけでなく、健康診断の準備や環境を整えることなど、子どもたちが安心して毎日過ごせるように支える役割もあります。保健室には、体の不調だけでなく、勉強の不安や友達関係の悩みなど、話を聞いてほしくて来る子どもも多くいます。だからこそ、「この子は今、どんなことを求めているのか」を見極めることが大切だと感じています。また、行事や活動の前には、「どこに危険があるか」「どんなことが起きるか」を考えて、安全に取り組めるよう準備をしています。まだ経験が浅く、迷うこともありますが、その都度まわりの先生方に相談しながら、学校全体で力を合わせて学校保健に関わっています。これからも子どもたちにとって安心できる存在になれるよう、学び続けていきたいです。

7期生の皆さん、それぞれの場所で、これからも一緒に頑張ってください。

助産師

日本赤十字社愛知医療センター  
名古屋第一病院



**宮瀬 唯**さん (5期生)

私は、パースセンターという病棟で勤務しています。パースセンターには、自然なお産を希望される分娩リスクの低い方や、周産期センターでお産したのちに産後入院として転入されて

くる母子がいらっしゃいます。健康な状態での入院が前提であるため、パースセンターには医師が常駐していません。そのため、毎日のケアの中で異常の早期発見・報告が重要になってきます。分からないことや気になることを報告・共有しやすい病棟の雰囲気もあり、日々変わっていく母子の状態の変化を見逃さないよう意識しながら受け持たせて頂いています。また、パースセンターでは毎日母乳カンファレンスを実施しています。病棟全体で母子の授乳プランについて話し合い、考えたプランをもとにお母さんの希望にも添いながら母乳支援をしています。私も、一日も早く1人で母乳支援ができるよう、先輩方の知識や技術を吸収して活かせるようにしていきたいと思っています。勉強するべきことがたくさんあり、時間管理に追われる日々ですが、目指す先輩方の姿や、母子と関わることで実感する助産師としてのやりがいを忘れずにこれからも頑張っていきます。

卒業生の皆さん、忙しい日々だと思いますが、健康に気をつけて頑張ってください。

保健師

半田保健所



**鈴木 優奈**さん (7期生)

私は、保健師として半田保健所で勤務をしています。入職1年目ということで、母子、難病、結核など幅広い業務を担当し、日々勉強しながら仕事をしています。半田保健所管内はとても人が温かく、入職前は、県保健師というと直接地域で暮らす人と関わることが少ないイメージを持っていましたが、実際に働くと思っていたよりも関わる機会が多いので、楽しく仕事できています。地域で暮らす支援対象者の方以外にも、市町や病院等関係者の方と関わる機会も多く、顔の見える関係性を作ることを今年の目標にしています。同窓生の皆さんとどこかで一緒に仕事をするところがあるかなと少しワクワクしています。デスクに座ってパソコンと向き合っていることも多い仕事ですが、一人で頑張る仕事というよりも、グループの全員で協力しながら仕事を進めている感覚が常であって、仕事に来ることが嫌と感じることなく過ごすことができている。これからも保健師として、社会人として成長できるように頑張ります。同窓生の皆さんも健康第一で元気にお過ごしください。